

日本画で面白さを表現

福富の角軍亀さんが県教育委員会賞

県立美術館本館で5月21日～26日にかけて、第35回記念熊本県日本画協会展が開催され、福富の角軍亀さんが出品した作品が、県教育委員会賞を受賞しました。

県下の日本画水墨画作家で構成された県日本画協会が、毎年行っているこの展覧会は今回、水墨画を含めて167点の出品がありました。タイトル『崩輪』を描いた角さんが受賞した県教育委員会賞はトップ2にあたる賞。3回目の出品でみごと受賞を果たしました。

角さんは「受賞に大変驚いている。過去2回入選でしたので入選を目標にしていた。これを機に一層努力していきたい」と語りました。



県教育委員会賞を受賞した角さんと作品『崩輪』



一緒にゲームに参加する大儀見選手

プロの技術を学びたい

大儀見選手がサッカー教室で指導

町総合運動公園で5月26日、「なでしこジャパン」で活躍中の大儀見優季選手とメンタルトレーニングコーチの大儀見浩介氏を講師に、益城ルネサンス熊本F.C.協力のもと、サッカー教室が開催されました。

町内の小学生を対象に行われたサッカー教室は、有名な大儀見選手から指導を受けられると、71人の子どもたちが参加。訪れた観客は約200人を数えました。子どもたちはプロの技術やキック力を目の当たりにし、感激した様子で練習を行っていました。

教室に参加した益城中央小6年生の竹部大和くんは「目の前で世界レベルのサッカーを見てすごく勉強になった」と言葉を弾ませました。

嘉島町民体育館で6月15日、御船地区交通安全子ども自転車大会が開催され、御船署管内の小学校10校の選手が出場しました。

本町からは飯野小、益城中央小A・B、広安西小の4チームが参加しました。

1チーム4人からなる全15チームの選手たちは、学科テストのほか、交通ルールを守りながら走行する「安全走行テスト」と一本橋走行、ジグザグ走行などを行う「技能走行テスト」の実技テストを受け、自転車の正しい乗り方を競いました。

成績は、学科テスト、走行テストともに失点の少なかった益城中央小Aが見事優勝。優勝チームは7月6日に本町で開催される県大会に出場します。



技能走行テストを受ける選手

正しい乗り方、競い合う

子ども自転車大会で益城中央小Aが優勝